

令和2年度 市民と市長の対話集会

市長と語ろう！ほっとミーティング

開催結果報告書

- 1 開催日時 令和2年（2020年）11月30日（月）
午後2時から午後4時まで
- 2 開催場所 金目公民館 集会室
- 3 参加者 平塚市自治会連絡協議会 連合自治会長6人
- 4 テーマ ウィズコロナ時代の地域活動とは
～持続可能な地域運営について～



ほっとミーティングの様子

5 市長あいさつ

皆さん、こんにちは。平塚市長の落合克宏です。本日はお忙しい中、「市長と語ろう！ほっとミーティング」に御参加いただきありがとうございます。今春、新型コロナウイルスの感染拡大を抑えるために、地域活動にも様々な規制や制限をかけさせていただいたことから、平自連役員の皆さんと面談した際に地域活動が打撃を受け危機に瀕している実情をお話いただきました。その際には大変御不便をお掛けしましたことを改めてお詫び申し上げます

これまでの平塚の発生状況ですが、クラスターも少なく、重症者数も多くない状況です。本市の罹患率は人口10万人当たり70人程度であり、神奈川県内の19市で下から数えて6番目であり比較的低い位置にあります。これは市民の皆さん、事業所・施設の皆さんの安全対策のおかげであると考えています。この点についても改めて感謝申し上げます。

平塚は地域の皆さんの人と人とのつながりによって作られたまちであると考えています。このコロナが終息した先には、地域のつながりを中心とした温かいまちづくりが重要であると考えていますので、今回平自連の連合会長にお集まりいただき、地域の現状とこの先のあり方について、対話させていただきたいと考えています。今まさに第3波の襲来と言われていますが、一方でワクチンの開発が進みつつあるとの報道もあります。来年に向けて皆さんの活動が再開できるように、行政としてもしっかりと支援して地域づくりを進めていきたいと考えています。ぜひ率直な御意見をいただきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願ひします。

6 主なミーティングの内容

【司会】

まず初めにコロナ禍における各地域の現状などお聞かせください。

【参加者】

4月以降、連合自治会としては総会をはじめとしてほとんどが中止です。各活動団体も活動ができていません。特に高齢者はリスクが高いと言われていたので、地区に7つある高齢者サロンもなかなか活動できないため、高齢者の体力や認知機能の低下がみられます。

【参加者】

当地区も連合自治会定例会をなんとか開催する程度の活動しかできていません。また各活動団体もほとんど活動できていません。高齢者がオンラインに対応できるように各公民館でパソコン教室があるとよいと思います。

【参加者】

当地区もほぼ同様です。少人数でも人を集めようとする、必ず「人を集めて大丈夫なのか。」と反対意見が出てきます。第3波の中ではなかなか難しい状況です。

【参加者】

当地区もほぼ同様ですが、自治会によってはサロンを再開させた地区もあり、活動再開の動きが見られますが高齢者の体力低下が心配です。また、市から依頼を受け、自治会から委員を推薦している団体（青少年指導員等）の活動もほとんど行われていないようです。自治会が意義を説明してお願いして、なんとか委員になってもらっても、特に説明もないまま活動がなく任期だけが過ぎてしまうと、次をお願いすることが難しくなってしまいます。推薦をお願いした以上は、丁寧な対応をお願いします。また市が毎年定例の行事等の日程は、相談なく開催時期を変更しないでもらいたいです。自治会は前年どおりの日程で協力依頼があるものと計画しているので、1つの日程変更で全体調整が必要となってしまいます。

【参加者】

4、5月は公民館が利用中止となりましたが、公民館でできない活動を自治会館で行えば結果は一緒ではないかと不満に感じることもあります。また公民館まつりも一切の飲食禁止は厳しい気がします。また防災訓練でも全市で統一したコロナ対策が必要か、当地区のような少人数の避難所では対応が難しいのではないかと感じています。

【参加者】

当地域も9月ごろまでは行事をほとんど中止にしましたが、それ以降は屋外での活動などは徐々に再開しています。このまま行事の中止が続けば、地域の盛り上がりが見えなくなると心配しています。地域ごとに特色を活かしながらの活動再開が必要だと考えています。当地域は田舎だからこそできることがあるのではないかと考えています。

【司会】

行事が中止になることによって、地域の担い手、新役員探しに影響が出ていると思いますが、どのように対応されていますか。

【参加者】

皆さんと話ができない状況のため、自治会便りを増刊して自治会活動を知ってもらったり、感染情報を掲載したコロナ情報かわら版を作成して情報発信したりするようにしていますが、その回覧作業が増えることにも反対意見はあります。

【参加者】

果たして例年同様の活動ができるのか、来年度の年間計画も立てられません。一方でこれを機会に行事、役員の必要性、住民の参加意欲などを確認する必要があると思います。また行事ごとにコロナ対策のガイドラインが必要ではないかと感じています。

【参加者】

コロナを恐れてばかりで全ての行事を中止にしてしまえばいい、来年も再来年も中止でいい、という意識が広がってしまうことを心配しています。中止は楽でいいですが、それでは地域の活性化は叶いません。なんとか開催するための工夫が必要だと思いますが、活動団体となかなか会合をもてないため、この思いを共有することすら難しいです。なんとか12月中には人数を絞って連携会議を開催したいと考えています。

【参加者】

第3波の現状では、年度内に無理をして活動をしなくてもよいのではないかと、来年度に向けて今は我慢の時期だと考えています。

【市長】

各会長におかれましては、大変な御苦勞をいただきありがとうございます。市が行う様々なコロナ対策は、対策本部会議で国、県から示される対処方針に沿って決定しています。公共施設の使い方も対策本部会議内の施設分科会で検討し決定したものです。しかし、その決定プロセスなどが皆さんに十分伝わっていないことについては、お詫びしなければと感じています。またガイドラインなど皆さんが必要とされている支援への理解度も十分でなかったと感じていますので、本日いただいた御意見をもとに対策を進めたいと考えています。

平塚は地域ごとのつながり、支えあいで作られたまちであると考えています。つながりをここで止めてしまえば、これからまちづくりを再開させる際に大きな障害となってしまうのではないかと危惧したことから、担当部に対策を指示して、地域活動再開円滑化交付金などの支援策を講じることになりました。安全対策をしっかりと講じることを前提として、活動の再開を検討する時期に来たのではないかと感じています。コロナと経済とどちらが大事かと問われることがあります。市民の安心安全を守ることが市の使命ですので、活動を制限しなければいけない場合では、しっかりと制限や規制をかけることもあります。しかし、全ての活動を止めてしまえば、今後のまちづくりを進めることはできません。ウィズコロナ時代にどのような活動をしていけばよいか皆さんと共に考えていく必要があると思います。

また、先ほど自治会便り、コロナ情報かわら版などの情報発信のお話がありました。今回の平自連の皆さんとの対話を通じて、コロナに関する情報発信、

自治会との情報共有について、厳しい御指摘もいただきました。現状では市ウェブで市内発生件数のみの公表に留まっています。地域別の発生状況については保健所を管轄する神奈川県から収集できていないのが現状です。地域別発生状況を提供してもらえよう県からの情報提供を強く要望していきます。

【司会】

前回までのほっとミーティングでも情報についても御意見は挙がりました。もちろん個人情報への配慮は当然ですが、地区別の発生状況は必要でないかと感じています。

【参加者】

不安を煽るような情報の出し方には注意が必要です。皆さん注意しましょうという捉え方をしてもらえよう工夫が必要です。

【司会】

会合が持てない中で、自治会内での情報共有はどのようにされていますか。前回までのほっとミーティングではオンライン会議、「ちいき情報局」の活用などが挙げられましたが、皆さんの地域ではいかがですか。

【参加者】

当地域ではまだまだ紙中心です。高齢者の中にも熱心にパソコンの勉強をしている人もいますが、全くできない人も多いと思います。

【参加者】

これからの時代では、高齢者もスマホ程度はできないといけないと感じています。公民館でのパソコン教室などの支援があるとよいと思います。

【参加者】

当地域でも一部パソコンに強い人はいますが少数です。まだまだ紙での自治会活動になると思います。オンライン会議の予定もありません。

【参加者】

「ちいき情報局」の活性化にも中心になってくれる人が必要です。各活動団体が掲載作業をしているため、操作研修等も行っていますが、なかなか中心になれる人材はいない状況です。

【参加者】

当地域は公民館主事が中心となってくれていて助かっています。

【参加者】

当地域では、小・中学校が情報を掲載してくれているため、保護者や子どもたちの閲覧が増えています。

【市長】

小・中学校の情報を「ちいき情報局」に掲載していただいていることで、特に臨時休業中に保護者と学校の情報共有に大変役立ちました。ありがとう

ございました。なお、子どもたちの学習環境のデジタル化については、国のGIGAスクール構想を前倒して思い切って実施することにしました。今年度中に全小・中学校の児童・生徒に1人1台タブレット端末を配備します。

また「ちいき情報局」の充実など自治会活動のデジタル化の推進については、積極的に支援するよう私からも担当部に指示を出しています。地域活動再開円滑化交付金なども活用していただきながら環境整備を進めていただきたいと思います。またデジタル化にはハード整備だけでなく、先ほど提案のあったパソコン教室などソフト面などの支援も必要であると考えています。高齢者の中にはパソコンやスマホに馴染みの少ない方がいることは承知しています。この先の時代では必要になる機会も増えてきますので、こういった方への支援にも取り組んでいきます。

【司会】

行事の開催に向けた具体的な取組状況について、地域活動再開円滑化交付金の活用事例等ありましたらぜひ御紹介してください。

【参加者】

当地域は12月に2回、屋外での行事を予定しています。学校の校庭をお借りして、広い場所で人を分散させるなど安全対策しています。また「ひらつか着地型観光推進委員会」の協力をいただき、里山を活かした着地型観光として焼き芋体験などを予定しています。

【参加者】

当地域では防犯パトロール車両に貼るマグネットを作製しました。

【参加者】

当地域では例年いただいている自治会への交付金も、行事が開催できず返還対象になるかもしれないので、地域活動再開円滑化交付金は申請しませんでした。各活動団体への補助には充てられないなど使途に制限もあり、何か買うしかありませんが、市民の税金を無駄なものに使いたくないと考えました。各活動団体を対象から外すことは、各活動団体は地域の構成員ではないと言われてるように感じてしまいます。来年度に繰り越しを可能にするなどもう少し柔軟な運用をお願いしたいです。

【参加者】

当地域では防犯パトロールで着用するジャケットを更新しました。これまで予算不足が課題であったので、これを機会に必要なものに充てるよう伝えていきます。

【市長】

自治会活動の再開を支援するために私が担当部に指示して、地域活動再開円滑化交付金を創設しました。各活動団体への使途制限については、市の別

部署から補助対象となっているものが多いので、今回は自治会活動に特化した補助として実施しています。しかし、見方によっては縦割りの弊害と感じるところもありますので、皆さんの使いやすさも踏まえて改善するよう検討を指示します。

これから来年度の予算編成の時期になります。大変厳しい予算編成になると思いますが、自治会活動、特に安全対策関係予算については、しっかりと手当てしたいと考えています。ぜひ皆さんからこういった支援策があるとよいなど御意見もいただけましたらありがたいと思っています。

【参加者】

ごみ関連ですが、収集車が回収せず取り残されたごみは、自治会で中身を確認して排出者を特定しようと試みても、ほとんどが他地域から捨てられているのが現状です。ごみから感染するリスクもありますので、コロナ禍においては全て収集してもらうようにできないかと思っています。

【参加者】

防犯カメラについては自治会で設置しているものがありますが、リースやレンタルで一時的な設置ができると有効な場合もありますので検討していただけないかと思います。

【参加者】

防犯カメラの補助も今年度で終了と聞いています。ぜひ継続していただきたいと思っています。

【参加者】

ごみ集積所のカラス対策を従来のネットから折り畳みボックスに変更するための支援をお願いしたいと思っています。

【司会】

ごみ問題については、これまでのほっとミーティングでも毎回話題になりました。このあたりについて市長から御説明いただきたいと思っています。

【市長】

ごみ問題はコロナ禍においても最も大きな課題だとの御指摘もいただきました。他地域からの不法投棄にお困りであるとお話もお聞きしましたので対策強化とコロナ禍における収集方法についても検討するよう担当部に指示します。

これからのごみ収集として、モデル地区で戸別収集の社会実験を行いました。減量化の効果もあることも分かりましたので、全市域への順次拡大を進めていく方針です。ごみは市民生活の中で必ず発生するもので、必ず処分をしなければなりません。自治会の御協力には改めて感謝しながら、対応を進めていきたいと考えています。

防犯カメラについては、県と市で補助を実施してきましたが、県の補助は今年度で終了と聞いています。費用対効果を検証しながら、市の補助を拡大できないか検討していきたいと思います。

担当課補足

防犯カメラの県補助金は、令和3年度から補助額が段階的に減額し、令和4年度をもって終了する予定です。

【参加者】

当地域でもバス停付近に設置した防犯カメラの映像が痴漢の逮捕に役立ちました。防犯、不法投棄対策として有効だと感じています。

【参加者】

戸別収集については可燃ごみが対象だと思います。不法投棄は可燃ごみではなく、資源ごみ、不燃・粗大ごみがほとんどです。戸別収集と別問題として捉えないと解決しない問題と考えています。

【参加者】

資源ごみ等は可燃ごみに比べて集積場が少ないです。不法投棄対策として集積場の分散化が必要だと感じています。

【参加者】

自治会未加入者への対応には苦慮しています。

7 市長によるまとめ

本日は様々な御意見と御要望、地域が抱える課題の提起をいただきありがとうございました。コロナ対応に当たっては、行政にとっても初めての経験であり、自治会や市民への対応に足りない部分があったことは事実ですので、今後検証を行いながら、また自治会、活動団体への支援のあり方についてももう一度検討を行いながら、次のまちづくりを進めていきたいと考えています。各地域を支えていただいている自治会長の皆さんには、引き続き御協力をいただきたいと考えていますので、どうぞよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。

以 上